

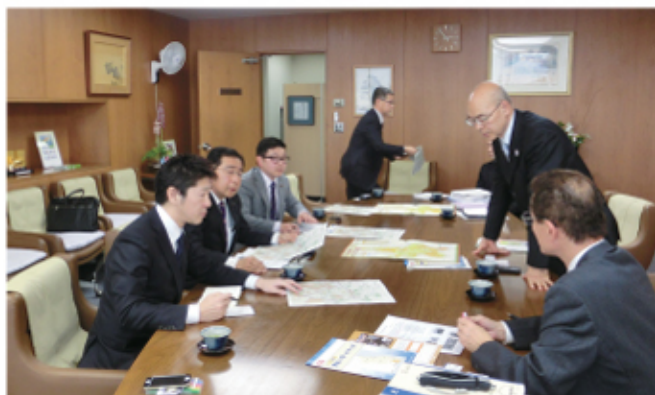
葛飾区・埼玉県八潮市・三郷市の相互応援協定

2月17日青木克徳葛飾区長・伊藤よしのり区議会議員
山下勝矢埼玉県議会議員・篠原亮太八潮市議会議員は葛飾区長室に於いて、
今後の災害発生時の取組みについての意見交換をしました。

- 東日本大震災から3年が経過しましたが、いまだにまだ多くの方々が避難生活を送っており、被災された方々にとっては長い日々であったことと察せられます。
- 今、被災地では、国や様々な自治体からの支援を受け、復旧・復興が進められています。
- 一自治体の力は微力です。
- 被災したときに、救出、救援、復旧などの活動を円滑に進めていくには、多くの自治体や関係機関と協力体制を日ごろの活動を通じて、築いていくことが重要となります。
- 葛飾区においても、昨年8月に結んだ稲敷市など、15の市町村と災害時の応援協定が締結されています。



- また、区長からは足立区に繋がる都市計画道路138線の橋梁部実現に向けた強い思いが語られました。
- 互いに力を合わせ、地域の夢を実現していくとともに、災害時の応援体制の構築に向け、今日のような取組みを継続していくことが確認されました。
- 私も、微力ですが、議員としてのネットワークを活用して、引き続き、他自治体との良好な関係を築いて参ります。
- 皆様も、食料や水など備蓄、家具の転倒防止対策など、日ごろの備えをお願いいたします。



- これまでは、震災を想定し、相互被災しない、遠距離の自治体と協定を進んでいましたが、平成24年5月の利根川水系におけるホルムアルデヒド事故(工場からのヘキサメチレンテトラミンの流出し、複数の市で断水が発生)以来、近距離での相互応援体制構築の必要性が再認識され、現在、取組みが進められています。
- 葛飾区では隣接する三郷市と八潮市とも、災害時における相互応援協定を締結しています。
- 今回は、この取組みを隣接各区市議員としても応援しようと、先日、埼玉県議、三郷市議とともに、区長と意見交換を行いました。
- 意見交換では、将来、水元公園に橋を架橋し、葛飾と三郷の交流をさらに高めるなど、県議の夢が語られました。

